# まちの話題

## ころもがわ

### 馬産地の伝統歌を歌い継ぐ

66人が萩刈唄で歌声を競う

市内各区からも27人が参加した萩刈唄全国大会

萩刈唄全国大会 in 衣川は９月８日、サンホテル衣川荘で開かれました。馬の飼料として使われた萩の刈り取り作業中に歌われていたのが萩刈唄で、馬産地であった衣川区では昔から親しまれてきました。

今回は県内外から66人がエントリー。自慢ののどが次々披露されると、会場に詰め掛けた約 150 人の観客から大きな拍手が送られていました。優勝は衣川区の千葉正司さん。昨年は準優勝しており、伸びのある歌声には定評がある地元を代表する実力派です。千葉仁市衣川区長から表彰を受け、満面の笑みで喜びを表していました。

## まえさわ

### 平和と人類の福祉を願って

前沢ユネスコ協会が50周年

式典では歴代会長ら３人を表彰

９月29日、前沢ユネスコ協会50周年記念式典が前沢ふれあいセンターで行われました。

オープニングとしてこれまでの協会の歴史をスライドで上映。続いて行われた式典では、歴代会長ほか協会の発展に尽力した３人を表彰するなど、50年の歩みを振り返りながら、さらなる発展を誓い合いました。

同協会は、昭和32年８月に県下４番目の民間ユネスコ協会として設立。さわやか賞の表彰をはじめ、国際交流や寺子屋運動など「国際平和と人類共通の福祉」というユネスコ精神にのっとった独自の活動を続けています。

## えさし

### 蔵の町並みがランナー歓迎

えさし国際交流マラソン

秋の江刺路を駆け抜ける奥州えさし国際交流マラソンは９月30日、江刺総合支所前を発着点に行われ、６部門で1444人が完走しました。

ハーフマラソン、10㌔の部門は社会人や学生、ベテラン愛好者らが中心。反対に10㌔リレーやミニハーフ(2.1㌔)、ウオーキングなどの部門には、職場や友人のグループ、家族、小中学生らが多数参加し、思い思いのペースで蔵の町並みを走り抜けました。

沿道では、区内のバンドメンバーらが楽器を手に歌や声援でランナーを後押し。ランナーもゴール間近の疲労をものともせずに、笑顔でこたえていました。

10㌔近く走ってもまだこの余裕

## 秋晴れの下で山と触れ合う

大師山で親子森林体験教室

森林保護への意識を高め、学区を越えた仲間、親子同士の交流を深めてもらおうとする第１回親子森林体験教室（市緑化振興協会主催）は９月29日、水沢区黒石町の大師山森林公園で行われました。市内の26組58人の親子が参加し、秋の気配を感じながら自然を満喫しました。

午前の森林散策では、公園内の観察ルートを散策。木や草花、森に住む動物や昆虫などを観察し、山の仕組みを学びました。午後のメニューは、林業機械による実演と木工教室。木工教室では間伐材やドングリなど、ぬくもりのある山の材料を使いながら、アクセサリーや置き物など親子で楽しく趣向を凝らした作品を作っていました。

参加した親子は、森林と林業の重要性を再確認しながら、秋晴れの高い青空が広がる１日を笑顔で過ごしていました。

山の産物を材料にアクセサリーなどを作る親子

## みずさわ

### 踊り手も観客も感動を共有

奥州Yosakoi in みずさわ

地元の声援を背に躍動する幻夢伝

東北有数のよさこいイベント「奥州 Yosakoi in みずさわ」は９月 23 日、水沢駅通りなど５会場で開かれ、熱い盛り上がりを見せました。

６回目のことしは、全国各地から昨年を上回る 61 チーム約 2200 人の踊り手が集結。チーム数が増えたため、演舞会場を１つ増やすほどの勢いです。

よさいこいの本場北海道からは、YOSAKOI ソーラン祭りで４年連続大賞を受賞した新琴似天舞龍神（しんことにてんぶりゅうじん）も参加するなど話題性も十分。踊り手たちは、沿道に詰め掛けた大勢の観客の前で一糸乱れぬ演舞を披露し、観客と一体となってよさこいを満喫していました。

## いさわ

### 交通事故の根絶へ心新たに

安協若柳分会が安全祈願

全国秋の交通安全運動初日の９月21日、胆沢区若柳一本松地内にある交通安全地蔵尊前で、水沢地方交通安全協会若柳分会（小原仁分会長）による交通安全祈願が行われました。

地蔵尊が建つ国道 397 号と広域農免道路島袋大袋線との交差点は、大型車両の通行が多く、死亡事故も多発していました。これを憂慮した同分会が20年ほど前からこの場所で安全祈願を始め、平成９年には地元有志により地蔵尊も建立されました。

この日は、関係者や付近の住民ら約30人が参加し、交通事故の根絶を願って手を合わせていました。

事故犠牲者を追悼する参加者